



安永 さとみさん
福岡県脇田温泉
湯めぐりの宿楠水閣

京都府・八千代旅館
の中西裕子さんよりバ
トンをいただきまし
た、福岡県・湯めぐり
の宿楠水閣女将、安永
さとみです。

脇田温泉は福岡中心
部より車で40分、北九
州より50分の奥座敷に
あります。かつて日本
の近代化を支えた筑豊
炭鉱の一角を担った
町。宵越しの金を持た
ない一気風の川筋者と

呼ばれた鉱夫が夜な夜
な町に練り出した、華
やかな時代に楠水閣は
創業しました。

昭和33年の創業時代
は四畳半10室。トイレ
も風呂もなかった当館
は増改築を重ねまし
た。創業4年後には別
館を設け、大浴場、宴
会場、会議室、スナッ
クなどの施設も次々と
設置、昭和47年には新
館も建てました。バブ



をもつてJ K K
全旅連・女性経営者の会
リレーコラム
Vol.165

ル期には、福岡では珍
しかった男女合わせて
10種類の露天風呂、貧
し切りの家族風呂など
設置しました。平成24
年の全館リニューアル
では、館内を畳敷きに
して段差をなくすな
ど、バリアフリー化も
実現しました。

もちろん順風満帆な
経営ではありませんで
した。地元の貝島炭鉱

が昭和51年に全面閉山
したのをはじめオイル
ショック、バブル崩壊
や東日本大震災、豪雨
などの影響で売り上げ
が大きく落ち込んだこ
ともあります。最近で
は、新型コロナウイル
スにより休業を余儀な
くされました。

それでも経営を続け
られたのはお客様に対
する経営者や社員的心

構えが大きいと思いま
す。徳治経営を目指し
ながら、社員と一緒に
歩むお客様にとって旅
行はハレの日。毎日が
お正月だと思つて接す
る。この言葉を胸にお
客様の心と身体に癒し
を届ける旅館でありた
い。そのために、経営
者と社員の信頼関係が
必要です。私は徳治経
営を目指しながら、ス
タッフと一緒に歩ん
でいます。

「一年々歳々花相似たり
歳々年々人同じから
ず」という詩句があり
ます。来る年も来る年
も同じように花は咲く
が、それを眺める人の
姿は年々変わつてい
く。毎年美しい姿を見
せる自然に対し、人は
老い、世の中は変わっ
ていく…。

犬鳴山系の麓にある
静寂な地。当館の名の
由来となつた樹齢八百
年の楠や、犬鳴川のせ
せらぎを眺めながら、
変わらない四季折々の
恵みを感じていただき
たいと願つておりま
す。

次は石川県・加賀の
宿宝生亭の帽子山麻衣
さんにバトンを渡しま
す。

お客様への癒しを追求